データシート

McAfee Management for Optimized Virtual Environments AntiVirus

パフォーマンスを犠牲にしない、プライベート クラウドのセキュリティ

従来のウイルス対策では仮想インフラを十分に保護することはできません。McAfee® Management for Optimized Virtual Environments AntiVirus (McAfee MOVE AntiVirus) は仮想デスクトップと仮想サーバーに最適化された高度なマルウェア対策を提供します。複数のハイパーバイザーに対応したバージョンを実装することも、VMware NSX または VMware vCNS 用に調整されたエージェントレス オプションを選択することもできます。どちらにしても、仮想マシン (VM) のパフォーマンスへの影響を最小限にして迅速な脅威検出と隔離を行う、トップクラスのセキュリティを実現できます。McAfee MOVE AntiVirus は、仮想化環境に最適なマルウェア対策を提供します。ハイパーバイザーのリソースを消費せず、最新のセキュリティ スキャンをポリシーに従って実行します。

スキャン制御の最適化

ゲスト デスクトップと仮想サーバーは動的に変化します。ユーザーがセッションを開始するときに、マルウェアに感染していないイメージを提供する必要があります。しかし、これはそう簡単ではありません。なぜなら、ユーザーはグループで作業することが多く、複数のウイルス対策が同時に進行することでリソースが消費され、ユーザーがセッションを開始できなくなる可能性もあるためです。

このようなボトルネックと遅延を解決するため、McAfee MOVE AntiVirus は、個々のゲスト イメージからのスキャン、設定、.DAT 更新をオフロード スキャン サーバーで処理します。 スキャンしたファイルはグローバル キャッシュに格納し、後続の仮想マシン (VM) が正常と診断されたファイルにアクセスした場合、このファイルのスキャンは実行されません。

各 VM に割り振られるメモリー リソースを少なくし、リソースプールに解放してリソースの使用効率を向上させています。

McAfee MOVE AntiVirus を使うと、オンアクセス スキャンとオンデマンド スキャンで異なるポリシーを使用し、きめ細かく調整されたセキュリティを実行できます。例えば、管理者はパフォーマンスの低下を防ぐためにリアルタイムのオンアクセス スキャンではいくらかのリスクを負い、パフォーマンスへの影響が低い場合は後からより厳格なポリシーのオンデマンド スキャンを実行できます。

すべてのクラウドを強力かつ完全に可視化

可視性が不十分だと、仮想化環境に対して適切なセキュリティ ポリシーを実装することが困難です。プライベート クラウド用 McAfee Cloud Workload Discovery は VMware と OpenStack に対応し、仮想データセンターに完全な可視性

主な特長

- **仮想環境に特化したマルウェア スキャン：** メモリーの消費量を抑えながら、迅速なスキャンを実行します。
- **柔軟なスキャン オプション：** オンアクセス スキャンとオンデマンド スキャンを柔軟に設定できます。
- **柔軟な配備が可能：** マルチプラットフォーム (すべての主要なハイパーバイザー、Windows VM) または エージェントレス (VMware、Windows、および Linux VM) を選択できます。
- **リソース最適化の強化：** イベント通知 (マルチプラットフォーム) 付きのオフライン スキャンによって柔軟なプロビジョニングを実行します。
- **ゼロデイ攻撃や未知の脅威を瞬時にブロック：** ローカル レピュテーション情報をサンドボックス (マルチプラットフォーム、別売の追加モジュール) での動作分析と組み合わせます。
- **McAfee® ePolicy Orchestrator® (McAfee ePO™) コンソールを利用：** 物理環境、仮想環境、クラウド環境で強力な可視化機能と制御を提供します。

を与え、McAfee ePO コンソールにサーバー、ハイパーバイザー、VM などのキー プロパティを登録します。管理者はすべての VM のセキュリティ状態を把握し、ほぼリアルタイムでハイパーバイザーと VM の関係を監視できるようになると、仮想データセンターの保護ははるかに容易になります。セキュリティ スキャンの状態、実行の概要、資産に関する履歴データを表示するようにダッシュボードをカスタマイズすることもできます。

McAfee Server Security Suite Essentials と McAfee Server Security Suite Advanced では、Amazon Web Services (AWS) と Microsoft Azure パブリック クラウドおよび物理サーバーの可視性と制御を拡張します。

柔軟なポリシー管理

McAfee MOVE AntiVirus のポリシーの設定や管理は McAfee ePO コンソールから実行します。物理システムとパブリック クラウドからのデータと仮想データをロールアップして、統一されたダッシュボードとレポートを作成できます。McAfee Cloud Workload Discovery により VM、クラスターまたはデータセンターごとに固有のポリシーを作成できます。これにより、データセンターの要件に合わせてセキュリティ対策を調整できます。

McAfee MOVE AntiVirus の追加機能

管理機能と可視化 :

- VM または VM のグループに対するオンデマンド スキャンのスケジュールを簡単に設定できます。
- 対象を絞ったオンデマンド スキャンでスキャンの精度を高めます。
- VMware NSX Service Composer との統合で、各ハイパーバイザーにオフロード スキャンが自動的に配備されます。
- ダッシュボード、レポート、および電子メールのアラートで常に問題を把握できます。

簡単な配備と管理 :

- 複数のハイパーバイザーにオフロード スキャンを配備し、設定できます (エージェントレス)。
- McAfee ePO コンソールを使って隔離ファイルを復元します (マルチプラットフォーム)。
- ウイルス対策の詳細な診断とパフォーマンス調整を行います。
- シームレスかつエージェントレスでマルチプラットフォームのポリシーを管理します。

VMware 向けのエージェントレス オプション

McAfee MOVE AntiVirus は、VMware NSX または VMware vCNS を利用して効率性を向上させています。エージェントレス配備の場合、高速接続にハイパーバイザーを使用します。これにより、McAfee MOVE AntiVirus セキュリティ仮想マシン (SVM) はゲスト イメージ以外から仮想マシンをスキャンできます。SVM はスキャン時に正常なファイルをキャッシュに格納し、不正なファイルの削除、アクセス拒否、隔離を実行するように VMware NSX または VMware vCNS に指示します。

SVM および VMware NSX または VMware vCNS コンポーネントを VMware ESX サーバーにインストールして設定し、ゲスト VM に VMware NSX または VMware vCNS エンドポイント ドライバーをインストールしたら、McAfee のソフトウェアを

McAfee MOVE AntiVirus の構成

McAfee MOVE AntiVirus for Virtual Servers

- McAfee MOVE AntiVirus:
  - マルチプラットフォーム対応
  - エージェントレス
- プライベート クラウド (VMware と OpenStack) の Cloud Workload Discovery
- McAfee ePO ソフトウェア

McAfee MOVE AntiVirus for Virtual Desktops

- McAfee MOVE AntiVirus:
  - マルチプラットフォーム対応
  - エージェントレス
- プライベート クラウド (VMware と OpenStack) の Cloud Workload Discovery
- McAfee Host Intrusion Prevention System
- McAfee SiteAdvisor® Enterprise
- メモリー保護、Web アプリケーション保護
- McAfee ePO ソフトウェア

各クライアント VM にインストールしなくてもすべてのイメージが自動的に保護されます。vMotion に対応しているので、VM を別のホストに移動しても、移動先のホストで SVM にシームレスに保護されます。スキャンやユーザーの操作に影響を及ぼすことはありません。

VMware vCNS と McAfee 製品を統合すると、VMware vCenter 内で SVM の状態を監視し、SVM が接続を失った場合に、アラートを受信することができます。また、McAfee ePO コンソールでイベント データを受信し、感染した場合に影響を受ける VM の詳細を確認できます。VMware NSX との緊密な統合により、McAfee ePO コンソールで作成されたポリシーと VMware NSX に割り当てられたルールを同期できます。マルウェア対策保護のない脆弱なマシンまたはマルウェアのあるマシンはタグ付けすることで、VMware NSX ファイアウォールを介して VM を瞬時に隔離します。

エージェントレス McAfee MOVE AntiVirus の配備は VMware vCNS および VMware NSX に同時に対応しているため、VMware vCNS のユーザーの VMware NSX への移行が非常に簡単でシームレスです。

すべての主要なハイパーバイザーに対応

vSphere、Hyper-V、KVM、および XenServer を含む、マルチプラットフォーム インストールでは、軽量のエンドポイント コンポーネントである McAfee MOVE AntiVirus エージェントは SVM と通信し、各 VM の代わりにウイルス対策を実行します。McAfee MOVE AntiVirus エージェントは、ローカル キャッシュを維持し、ポリシーとスキャン機能を管理します。正常なマスターとして使用するゴールド マスターを指定し、スキャンできます。正常なイメージをローカル キャッシュに格納することで VM の起動時間を短縮しています。

ファイルがアクセスされると、McAfee MOVE AntiVirus のオフロード スキャン サーバーがオンアクセス スキャンを実行し、結果を VM に戻します。問題が発生した場合にはポップアップ アラートで通知されます。これにより、不正なファイルの削除、アクセスの拒否、隔離を実行できます。

マルチプラットフォーム配備ではスキャンの需要が変動するため、SVM はリソース プールから自動的に追加または削除され、電源の上がり下がりを判断して無制限のスケールで効率的にリソースを利用します。イベント通知は、管理者が SVM の使用傾向を理解してリソース管理を最適化するのに役立ちます。

マルチプラットフォーム配備の McAfee MOVE AntiVirus は、別売の追加モジュールである McAfee Threat Intelligence Exchange からのローカル データを使って、McAfee Global Threat Intelligence (McAfee GTI) からのグローバル レピュテーション情報を強化し、増加し続けるユニークなマルウェア サンプルを瞬時に特定および阻止できます。McAfee MOVE AntiVirus は、McAfee Threat Intelligence Exchange を使用してサンドボックスで未知のアプリケーションの動作を動的に分析し、新たに検出されたマルウェアからすべてのエンドポイントを自動的に保護します。McAfee Threat Intelligence Exchange をとおして McAfee MOVE AntiVirus を McAfee Network Security Platform に統合すると、統一された境界と仮想マシンを多層型のセキュリティで保護できます。

エージェントレスおよびマルチプラットフォームのポリシーを統一管理

McAfee MOVE AntiVirus を利用してエージェントレスとマルチプラットフォームの両方の配備をサポートすることを望んでいる組織は少なくないでしょう。McAfee MOVE AntiVirus があれば、セキュリティ管理者は McAfee ePO コンソールで 1 つの拡張ポイントを使用して一貫したセキュリティ ポリシーを定義および管理でき、様々なメソッドの管理がシームレスかつ簡単になります。

アーキテクチャ	マルチプラットフォームの配備	エージェントレスの配備
ハイパーバイザー / プラットフォーム サポート	VMware、Citrix、Hyper-V、KVM を含むすべての主要なハイパーバイザー	VMware
スキャン プラットフォーム	Windows 2008、Windows 2012 R2、Windows Server 2016	Linux Ubuntu 16.04
配備の拡張性	1 つの SVM で複数のハイパーバイザーの VM を保護します。SVM は柔軟にプロビジョニングすることができます。	ESX ホストごとに 1 つの SVM
VM との通信	ネットワーク経由	ハイパーバイザー経由
仮想マシン保護	Windows	Windows および Linux

詳細を見る

McAfee のソリューションには、仮想環境に必要なセキュリティ機能と柔軟性が装備されています。

詳細については、**http://www.mcafee.com/jp/products/move-anti-virus.aspx** をご覧ください。

〒 150-0043
東京都渋谷区道玄坂 1-12-1
渋谷マークシティウエスト 20F
Tel. 03-5428-1100（代表）
www.mcafee.com/jp

McAfee、McAfee のロゴ、ePolicy Orchestrator、McAfee ePO、SiteAdvisorare は米国法人 McAfee, LLC または米国またはその他の国の関係会社における登録商標または商標です。その他すべての登録商標および商標はそれぞれの所有者に帰属します。Copyright © 2017 McAfee, LLC. 2721_0317
2017 年 3 月